

突然炎のごとく (1961)

JULES ET JIM
JULES AND JIM

メディア 映画
ジャンル ドラマ ロマン스
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 107分
初公開日 1964/02/01
公開情報 ヘラルド
映倫 G
リバイバル 1999/05 [カルチュア・パブリッシャーズ]

【解説】

ルビッチ映画を愛したトリュフォー描く恋愛もまた三角関係が多かったが、後に撮る女2対男1の「恋のエチュード」と並んで、この、一人の女を二人の男が、三人での友情と育みながらも争う本篇がその白眉だろう。奇しくも原作者は同じH・P・ロシェ。トリュフォーは彼の熱烈な愛読者だったのだ。モンパルナスで出会ったジムとジュール。文学青年同士の二人はやがて無二の親友となり、美しい娘カトリーヌと知りあった時も共に彼女に惹かれてしまう。だが熱烈にアタックしたのはジュールであった。彼はカトリーヌと結婚し、祖国に連れ帰る。だが、第一次大戦後、久方ぶりにライン河畔の夫妻の家を訪ねたジムは、ジュールからカトリーヌと一緒にあって欲しいと請われるのだが……。ややクラシカルな設定にいささかの懐古趣味も匂わせず、奔放なモローの魅力に引きずられるように躍動するカメラ、音楽……。心からの自由=愛を希求し、謳歌する三人の姿は正直、眩しすぎる。

【クレジット】

監督	フランソワ・トリュフォー	Francois Truffaut	
原作	アンリ=ピエール・ロシェ	Henri-Pierre Roche	
脚本	フランソワ・トリュフォー	Francois Truffaut	
	ジャン・グリユオー	Jean Gruault	
撮影	ラウール・クタール	Raoul Coutard	
音楽	ジョルジュ・ドルリュエ	Georges Delerue	
出演	ジャンヌ・モロー	Jeanne Moreau	カトリーヌ
	オスカー・ウェルナー	Oskar Werner	ジュール
	アンリ・セール	Henri Serre	ジム
	マリー・デュボワ	Marie Dubois	テレーズ
	サビーヌ・オードパン	Sabine Haudepin	サビーヌ
	ミシェル・シュボール	Michel Subor	ナレーション
	ヴァンナ・ウルビーノ	Vanna Urbino	ジルベルト
	セルジュ・レズヴァニ	Serge Rezvani	アルベール
	アニー・ネルセン	Anny Nelsen	ルーシー